



中学生が市政を問う

令和元年度平戸市子ども議会開催

8月7日（水曜）、平戸市議会議場で「令和元年度平戸市子ども議会」を開催しました。昨年度より市内の中学校を2つのグループに分けて実施しており、今年度は4校の中学校（大島中、田平中、野子中、中野中）から各3人が学校代表として一般質問を行いました。子ども議員の皆さんは、緊張しながらも堂々と議会に臨み、中学生ならではの視点で素晴らしい議論を繰り広げました。



野子中学校

| | | |
|---|---|--|
| <p>3年 柴山 幸姫 さん 「子どもの健全な発達のための環境の整備」について</p> <p>Q 子どもの学校教育・保育ニーズに 応えるため、具体的に実施していること と今後の計画は？ A 平戸市子ども・子育て支援事業計画は、 各種ニーズを推計し、幼稚園、保育所、 認定子ども園が教育・保育サービスを適切に 提供できているか把握するためのもの。また、 別の施策として、子育てを支援する生活環境 の一つとして安心して利用できる公園の整備は 大切であるため、市内の公園の道具点検や 維持・整備を行なっている。</p> | <p>2年 小山 莉央 さん 「子どもの健全な発達のための環境の整備」について</p> <p>Q 施設整備にあたって市内各地域の実情 および事業者の意向を勘案し施策を進めると のことがだが、現在の実情や意向は？ A 平戸市子ども・子育て支援事業は、 保護者や地域の代表者などの意見を基に 計画を立てている。放課後の児童の居場所 を増やしてほしいというニーズが高い地域 には放課後児童クラブを整備する計画を 立てている。また、公園を造ってほしいと 地域から要望を受け、さくらば公園を整備 した。</p> | <p>3年 西宮 宏敦 さん 「児童生徒の安全確保の立場から通学路の安全」について</p> <p>Q 野子小中学校前の道路の制限速度が 40 km/hから50 km/hに変わった。一部が 狭い路側帯を通り、横断歩道を渡る人も おり、さらに危険性が増していると思うが 市の考えは？ A 市として制限速度の緩和について コメントする立場にないが、交通安全対策 を所管・推進する市として、各地区に配置 する交通指導員による立哨指導、交通安全 教育の実施、交通ルールの周知徹底など により、歩行者等の安全確保に努める。</p> |
|---|---|--|

大島中学校

| | | |
|---|---|--|
| <p>3年 柳田 莉奈 さん 「定住・移住者の支援・空き家の掘り起こしと 空き家バンクの充実」について</p> <p>Q 空き家を活用しカフェにする「海を見渡 せるカフェプラン」は、観光客の増加や憩い の場の提供につながるのではないかと。市の 支援は？ A 市内で新たに事業を始める場合、さま ざまな支援策がある。空き家をカフェなど として活用する場合は補助率3分の1で100 万円を上限とした補助金の交付がある。ま た、空き家の活用促進策としてお試住住宅 制度や空き家バンク制度を介しての中古住 宅購入・改修補助などがある。</p> | <p>3年 川久保羅夢 さん 「定住・移住者の支援・婚活支援」について</p> <p>Q 移住者の増加や人口減少対策のため 「LOVE婚！大作戦！」という名の婚活事業 をやってはどうか？ A 市では、婚活イベントを平成30年度 までに計36回実施しており、延べ参加者、 男性558人、女性488人の方にご参加 いただき、これまで7組の結婚につなが っている。 大島村では、平成29年2月に1泊2日 で婚活イベントを行っており、島内の男性 14人、市外からの女性10人に参加して いただいた。</p> | <p>3年 阿立 桜 さん 「定住・移住者の支援・婚活支援」について</p> <p>イベントの内容は、神浦地区の町並みや風 力発電施設を見学したり、大島の海の幸を 味わいながら親睦を深めるというもので、 結果としてカップルが3組成立し、その後、 2組の結婚につながった。 大島村まちづくり運営協議会においても、 事業計画の中で「島婚事業」が予定されて いるので、皆さんが考えた「LOVE婚！大 作戦！」のアイデアを出すなど、事業に積 極的に関わっていただければと思う。</p> |
|---|---|--|

中野中学校

| | | |
|---|---|--|
| <p>3年 本山 誠 さん 「五感型観光を推進する」について</p> <p>Q 新たなイベントとして釣り大会やサイ クリング大会を企画してはどうか。宿泊客 も増えるのではないかと。 A 釣り大会やサイクリング大会は、本市 の美しく雄大な自然景観を生かしたもので、 県内外から多くの観光客を取り込むことが 可能と思われる。しかし、釣り大会はす でに民間の釣具店等により各種大会が実 施されていること。また、サイクリング 大会は本市の道路事情や長時間の交通規 制等の問題があり、開催が難しい。</p> | <p>3年 大石 華衣 さん 「生産基盤を整備する」について</p> <p>Q 手つかずの竹林や耕作放棄地対策は？ 環境・景観の整備、有害鳥獣対策の強化 のためにも必要ではないかと。 A 耕作放棄地は年々増加しており、市 全体の農地面積4,524haに対し1,344ha が耕作放棄地と判断されている（平成30 年度）。市では交付金を活用しながら、 農地や農道、水路などの維持管理等に 係る経費の支援、耕作をしていない農地 を貸し出す農地の流動化などにより未然 に耕作放棄地とならないよう取り組んで いる。</p> | <p>2年 寺田 光希 さん 「生産基盤を整備する」について</p> <p>Q 市では木質バイオマスエネルギーの 利用促進を図っているが、竹林を整備す る際に出てくる竹を燃料に利用できない かと。 A 竹は成長が早く、至るところにあり、 大変有効に思われるが、本市が検討を進 めている木材を主原料とする小型バイオ マスボイラーでは活用が難しい。今後、 研究や技術開発が進み、竹でも利用できる 小型のバイオマスボイラーが開発され れば利用について検討していきたい。</p> |
|---|---|--|

田平中学校

| | | |
|---|--|--|
| <p>2年 黒崎健太朗 さん 「平戸学の普及」について</p> <p>Q もっと平戸の歴史や伝統文化について 知りたい。平戸学を学校で学ぶことは できないか。学校での地域の人材を生か した平戸学普及について教えてほしい。 A 平戸学は、郷土の自然や歴史・文化 を調査研究し、市民をはじめ、多くの人 に広く知っていただくことを目指し、 歴史資料などの調査を継続して行なっ ている。 学校現場における平戸学の学習につ いては、平戸歴史文庫、平戸遺産をは</p> | <p>3年 芥田 賢洸 さん 「平戸学の普及」について</p> <p>じめとする書籍、無形民俗文化財の映 像記録DVDなどを学校に配布して いるので利用してほしい。 また、平戸学を学校で学ぶための人 材紹介や活用の仕組みについては、出 前講座制度があり、学芸員や専門職員 を派遣している。学習してみたいジャン ルやテーマを選択し申し込んでいただ きたい。 また、ふるさとを学ぶ教育について、 独自にデジタル教科書「わたしたちの 平戸市」を作成している。</p> | <p>3年 古里 大和 さん 「平戸市の観光開発」について</p> <p>Q 田平で昆虫をメインとした観光ア ピールができないか。昆虫を活用した 観光開発は考えていないかと。 A 「道の駅たびら」にある巨大カブ トムシを活用し、同じ規模のカブトム シのオブジェを有する大分県、鹿児島 県の自治体と連携したスタンプラリー を展開している。また、旅行会社とタ イアップし、九州管内の子どもたちを 対象に昆虫体験等を行なっている。今 後も昆虫を活用したPR方法等検討す る。</p> |
|---|--|--|